KFC 帰国者新長田交流会

KFC帰国者新長田交流会 2015年度

这 2015 年度,对兵库县的归国者来说是非常重要的年。今年我们有了自己的组织「兵库县归国者会」。归国者会的领导组里有很多是新长田交流会的志愿者。我对此感到非常的高兴。我以为这是我们贯彻以归国者当事人为重点的思想进行活动的果实。然而这其中的路程并不是一帆风顺。在这里的志愿者的领导在别的教室里,宣传不相关的活动或议论别的事项给其它教室添加了麻烦。有时也因为一世的高龄者难以记住秧歌动作,而对一世高龄者有排出意向。就这样到今天为止我们经过了种种磨合。所以得到了很多归国者和支援者的认同。今后可能也会出现很多问题,但是我们会通过的磨合来更好地开展我们的活动。

战后七十多年里,兵库县内居住的中国归国者也出现高龄化。据 2015 年 3 月的统计一世仅有 136 名。随着一世的减少日本国也在研讨新的政策。在这种社会背景下我们为了积极参与社会活动,也为了日本社会不要忘记我们,踊跃参加了神户祭等地区活动。秧歌队的总教练是归国者二世的李贺先生。李贺先生在中国就有文艺工作经验,在各种出演工作中照顾一世老人们顺利练习,对缺乏组织纪律的人们严峻指导以确保演出成功。

在 2015 年度我们以二世为中心,得到了非常多的个人与团体的支持,顺利进行了各种活动。在此表示衷心的感谢。





<張雨均さんの作品>

KFC帰国者新長田交流会 2015年度

今年度は、兵庫県内では『兵庫県中国帰国 者の会』が設立するなど帰国者たちにとって 大きな変化がありました。私としては、『兵 庫県中国帰国者の会』の役員の中にKFC帰 国者新長田交流会でボランティアとして参加 している二世等が多く関わっていることに大 きな喜びを感じました。それは、当事者重視 の交流会を行ってきた私たちの活動の実りだ と感じたからです。しかし、その道のりは簡 単ではありませんでした。リーダーが他の教 室で突然指揮を執り、その教室と関係のない 活動の広報や打ち合わせをして迷惑をかける こともありましたし、秧歌を楽しみにしてい る一世の方に対して、動きを覚えられないか らやめてもらおうかと排除するような意見が 出ることすらありました。その度にKFCス タッフとの意見交換を通じて、活動の意義を 話し合ってきました。その結果、兵庫県内の 帰国者たちや支援者たちに認められる存在に なってきたように思います。確かに課題はま だ多く残されていますが、今後も意見交換を 行い活動を発展させていけたらと思います。

戦後70年が過ぎ、兵庫県内在住の中国残留邦人帰国者も高齢化を迎え、2015年3月時点で136人となりました。一世の減少に伴って国としても今までの支援を見直す動きがあります。その中で、2世を含めた帰国者たちの社会参加を促すと共に日本社会に忘れられないよう神戸まつりなど地域行事にも積極的に参加してきました。そういった活動を担うのも秧歌隊の監督・帰国者二世の李賀氏です。李賀氏は中国でも学芸活動の経験があり、イベント出演練習ごとに高齢の方に優しく教え、纏まりのない集団に厳しく指導を行い、成功させています。

このように、今年度も帰国者2世等を中心に多くの方々や団体のご協力のもとで無事に活動を終えることが出来ました。お礼を申し上げます。 (呼和徳力根)

中国残留邦人帰国者紹介

平井 忠司先生



个人资料:

61 岁, 兄弟姊妹 5 人排老 4 出生在

中国的黑龙江省, 现在住在兵库县加古 川市。

1998 年 11 月来日本。 2012 年母亲去世。

中国的生活:

不喜欢学习,小学1年级开始辍学。13岁加入生产队开始工作。除了吃饭和休息时间回家以外,都在外面和朋友玩。25岁结婚。生产队解放后,土地的经营权下放到个人后,一直在家种地。

来日本的契机:

母亲的日本前夫是军人,是黑龙江开拓团的成员。战后,母亲得到父亲家救助。开始并不想来日本,因为不了解日本,甚至对日本有点恐惧。但是母亲想落叶归根于是家人一起回到日本。

在日本的生活:

来日本后,在日本的工厂工作了一年半,因为不懂日语,产生了压力。工作的时候,不跟人打招呼抛下工作一个人跑到大街上,还会有想打人的冲动。连自己有没有吃饭都不知道,结果没有办法继续工作。甚至有过自杀的念头,有点抑郁症。现在每天还随身携带药物,但是现在状况好转很多了。

加入日本国籍:

母亲一直想让家人加入日本国籍。儿媳妇也 很希望如此。儿子结婚之前,全家加入日本国 籍。

平井 忠司さん

プロフィール:

61歳 5人兄弟の4番目 中国の黒竜江省 生まれ 兵庫県加古川市在住 1998年11月来日 2012年に母親が他界

中国での生活:

勉強が好きではなかったので、小学校1年 生で学校を辞めました。13歳で生産隊に入っ て仕事を始めました。食事と休みにしか帰宅 しませんでした。ずっと外で友達と一緒に遊 んでいました。25歳の時に結婚しました。生 産隊解散後、各農家単位で農地を管理するこ とになり、その後ずっと農業をしていました。

来日のきっかけ:

母親の日本人前夫は(日本軍の)軍人で、中国の黒竜江省の開拓団に属していました。戦後、母親は中国の父親の家族に助けられました。最初は日本に来たくありませんでした。日本のことは全く知らなかったので少し怖い国であると思っていました。残留婦人である母親は日本に戻りたいという気持ちが強かったので、母親と共に家族を連れて日本に来ました。

日本での生活:

来日後、1年半日本の工場で仕事をし始めましたが、日本語が分からないので、非常にストレスがたまりました。人と話さず仕事を放置して工場から出て一人で町で迷ったり、ご飯を食べたかどうか自分のことすら分からなくなったり、人を殴りたい気持ちが湧いたりすることがありました。そして、結局、仕事もできなくなりました。うつ病になって自殺したいと思うようになり、薬に頼って生活しています。今はかなり良くなりました。

日本国籍への帰化:

私の母親はずっと家族に日本の国籍を取得してほしいと思っていました。息子の結婚相手も息子に日本国籍を取ってほしいと思っており、息子の結婚をきっかけに日本の国籍を取得しました。

新天地,新生活,助人为乐

神海

二十多年前,我离开了生我,养我,教育我成长的祖国-中国。东渡太平洋来到了日本。

流逝的岁月和年华,我已经是 70 年代的老人了。我现在是三十年河东,三十年河西。

在中国从小学,中学,高中到大学,以及在 大学毕业后的工作都是很一帆风顺,当时的我 是一个心想事成的人。

可是到了日本之后,我想我是变成一个刚出生的婴儿。需要从新来认识这个世界,去适应这个世界。新的天地之下,要开展新的生活,才有发展和前途。

一个国家先进和落后其中一方面显示出人 们的思想水平。我们在日本,在人群中相互尊 敬,爱护,相助。

我来日本的社会,见了许多让人们感激,并永远不能忘记的事情。

每周 2~3 次我去老年疗养设施。那里提供体操锻炼,营养饮食,洗澡等多种完善的服务。日本老年疗养院的服务非常全面。那里的工作人员的工作我亲眼所见体会,非常的热心周到。

本年 2 月初的有一天,我上洗手间想排大便。 平时排一次大便需要 20~30 分钟时间,可是 那天我进洗手间 40 分钟还排不出来。此时我 已经精疲力尽,在万分着急的情况下,大家全力以赴地想帮我,但措手无及。这时山根所长用手从肛门扣除大便。用了 20 分钟左右,给我解决了那时最大痛苦的问题。

山根所长的举动深深地感动了我和我的妻子。 我在想,这里的职员的为客人服务的精神是 最高尚的伟大的精神。他们具有高度的思想境 界,还能帮助人体贴人。

另外一件事,也让我深深地感动。

去年我去三宫商店街购物,突然来了尿意。 我急忙去洗手间。由于我着急,手颤抖不听话。 在便器前站了 20~30 分钟。我急得要命,有 些漏尿了。许多人从我身边一差而过,瞅我一 眼,就离开洗手间。此时一位先生(后来知道他 是医生)进洗手间,看我费劲的样子,就伸出友 谊之手,帮我排尿,穿裤子。一系列事情完事 之后,这位先生帮我叫出租车,帮我送回家。

以上两件事是,我亲身经历的。通过这两件事,我看出日本的人的思想水平和国家水平。

在此,我衷心地感谢日本政府对我们外国人的关照和关怀。感谢日本人民对我们的援助和帮助。



去赏梅花时的情景。后排第三为神海/梅の花見に行ったときの様子。後列右から3番目が神海さん

新天地、新生活…そこは人が助け合う社会

神海



二十数年前私は、 生まれ育った地、ま た私を教育し成長さ せてくれた地ー祖国 中国を後にし、東へ と太平洋を渡って 本にきました。

時は流れ、私はも

うすでに 70 代の年寄りになりました。私は、成人になってからの半生を中国で、半生を日本で過ごすことになりました。

中国で私は、小学校、中学校、高校、大学へと、さらに大学卒業後の就職においてもすべてが順風満帆でした。中国で私はまるで波に乗った人生そのものを歩んでいました。

しかし、日本に来てから、私は自分が生まれたばかりの赤ちゃんのように思われました。日本という新しい社会を一から理解、この社会に順応し、生きていかなければならなかったからです。

新しい世界で、新しい生活をスタートし、 頑張っていかなければ新しい発展と未来はな かったからです。

一つの国の発展と後退、その一面にはその 国の人々の思想と考え方のレベルという側面 が反映されていると私は思います。

日本の社会では多くの人たちが互いに尊重 し合い、愛し合い、助け合いながら暮らして いることを日本での暮らしを通して感じてい ます。また一生忘れられないことを数多く体 験し、人を感動させる出来事をたくさん見て きました。

私は、週に 2~3 回老人施設に通っています。 そこでは、身体を鍛えるための体操、栄養豊富な食事、入浴サービスなど行き届いた様々なサービスを提供しています。そこに通い、そこで働いている従業員たちの熱心で献身的サービスにはとても感動しています。

今年の2月のある日、連日便秘で苦しんでいた私は施設で排便を試みようとトイレに行きました。普段でも排便には20~30分時間がかかりますが、その日は40分過ぎてもなかな

か排便ができなくとても苦しんでいました。 私はすでに疲れ切って、また焦りも出ていま したので、周りの従業員たちも何もしてあげ られないもどかしさにただ焦るだけでした。 その時、山根施設長がトイレに入ってきて、 私の肛門に手を入れて便をほじり出すように して出してくれました。20分あまり悪戦苦闘 し、何日間も便秘で苦しんでいた私の最大の 悩みを解決してくれました。

山根施設長の行動に私と妻はとても感激しました。

この施設の従業員たちは高度なサービス精神をもって利用者に接し、利用者のために献身的に働いています。その精神は、崇高で偉大な精神そのものです。

もう一つ忘れられない感動の出来事があります。

去年のある日、三宮の商店街で買い物をしていた私は急にトイレに行きたくなりました。私は急いでトイレに行きましたが、手が震えて、なかなか思う通りに効かなかったです。 便器の前で20~30分立って苦労しましたが、焦るばかりで…とうとう尿を漏らしてしまいました。

たくさんの人たちは苦しんでいる私の存在など全く意識することなく、私の横を通っていきました。たまには私の方をちらっと見てはすぐにトイレを出ていく人もいました。

その時、ある先生(その先生は医者であったことを後で知りました。)がトイレに入ってきました。その先生は私の様子を見て、すぐに私のところにきて手伝ってくれました。排便から服の直しまで一連のことを全部手伝ってくれました。その後タクシーまで呼んでくれましたので、私は無事に家に帰りました。

以上の二つのことは、私が直接経験したことです。これらのことを通して、私は日本国民のレベルと日本という国のレベルを分かったような気がします。

ここで私は、私たち外国人に対する日本政府の配慮と日本国民の暖かい援助と応援に心からの感謝を表したいと思います。

2015 年度活動報告

○通常交流会

日本語学習

&

秧歌踊り/太極拳/広場踊り

○特別行事

- **4月** 神戸まつりに向けて秧歌踊り練習 農業体験
- 5月 神戸まつりに秧歌踊りで出演!
- **6月** 奈良遠足 農業体験
- 7月 暑気払いを兼ねた料理交流会 映画鑑賞会「おしん/阿信」 農業体験
- 9月 農業体験
- 10月 映画鑑賞会「あの子を探して/ 一个都不能少」 農業体験
- 11月 映画鑑賞会「山の郵便配達/那山那人那狗」
- 12月 カラオケ
- 1月 映画鑑賞「キープ・クール/有话好好说」
- 2月 料理交流会「新春会」
- 3月 映画鑑賞「三姉妹 雲南の子/三姐妹」 神戸国際交流フェアに秧歌踊りで出演!











2015年 归国者交流活动

今年是担任归国者交流活动工作的第2年。回首一年的工作,今年最倾注心力的是上午的日语学习。日语学习的时间,原则上是最低1个小时。学习的方式采取集体学习和小组学习的方式。前半段时间请大家放开嗓子大声朗读会话。平时,归国者大都生活在中国人的世界里,大声练习日语的机会很少。KFC上午的日语学习是为归国者提供一个开口讲日语的机会。后半段时间是小组学习,主要是学习语法。现在平均每周会出20个问题,问题的难易度相当于日语能力测试的4级水平。

持续的学习,我们看到了令人欣喜的成果。通过 学习,归国者独立完成旅行日记的书写。经过一年 的摸索,每周二都会有一定人数的归国者来学习。 不仅二世,不少上了岁数的一世成员也表现出很强 的学习兴趣。 虽然归国者的日语水平,因来日的年数,在日本的生活体验,年龄等因素的差异而不同。但是在学习过程中大家异口同声地说出同样的心声。上课时如果附带中文说明和解释,学习效率会提高很多。完全的日语授课对归国者而言有很多难以理解的部分。附加一定的中文说明会更加容易理解,更容易记忆。因此,擅长中文和日文的 KFC 的老师的授课受到广泛的欢迎。

前一段时间,听到两则消息,一则是政府针对归国者进行了调查。另一则是明年国家对归国者的预算被缩减。现在,国家的归国者政策明显倾向于一世。无论是一世还是二世,命运都曾被战争所翻弄。希望国家拂去代际差,以同样标准来对待一世和二世。(胡源源)

2015年の帰国者交流活動

帰国者事業のコーディネーターを担当させ ていただいて今年で2年目になります。今年 度の仕事を顧みると、一番力を注いだのは午 前中の日本語学習でした。午前中基本的に最 低1時間の勉強時間を確保し、学習の形をと っています。前半の時間は皆さんに大きないま もらい、会話の朗読をしてもらい、会話の朗読をしてもらい、会話の朗読をしてする 中国語話者のコミュニティを担 してもる帰国者たちは声を出してで、この時間 はがいープ学習で、主に文法の学習です。 はグループ学習で、主に文法の学習です。 はグループ学習で、主に文法の学習です。 はグループ学習で、主に文法の学習です。 はグループ学習で、対象レベルの文法を はグループ学習で、対象とでいます。

勉強を持続することで成果も見られます。 勉強を通して帰国者は自力で旅行記が完成で きました。一年間の試行錯誤で毎週の火曜日 に一定の学習者が集まってきています。二世 だけではなく、高齢の一世も勉強の意欲を示 しています。帰国者たちの来日の年数、日本での生活体験、年齢などによって日本語のレベルは異なりますが、学習中、中国語の説明や解釈があると勉強の効率がよくなります。日本語だけで教授すると帰国者にとって分かりでいるところがあります。ある程度の中国語の説明が加われば理解しやすく、覚えや可言といます。したがって、日本語と中国語の両方に堪能な KFC スタッフの授業はとてもります。帰国者の勉強意欲を更に高めることに繋がっています。

この間、国は帰国者に調査を実施しました。 そして、来年度、帰国者の予算が削減される という二つの話を聞きました。現時点では、 帰国者政策は明らかに一世に偏っています。 一世であれ二世であれ同じく戦争に運命を翻 弄されました。国に世代の差をなくし、同等 な待遇の措置を取ってほしいと思います。

(胡 源源)

編集•発行:

NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC) 〒653-0038神戸市長田区若松町4-4-10アスタクエスタ北棟502 TEL 078-612-2402 FAX 078-612-3052 E-mail kfc@socail-b.net http://www.social-b.net/kfc